



# 慶應言語学 コロキウム

慶應義塾大学言語文化研究所  
The Keio Institute of Cultural and Linguistic Studies

## 日本語の空主語・空目的語と言語理論

[講師] 高橋 大厚氏(東北大学大学院国際文化研究科教授)

[日時] 2017年10月28日(土)・29日(日) 13:00—18:30

[会場] 慶應義塾大学三田キャンパス北館3階大会議室

\*参加費無料・事前申込不要(会場にて参加者カードへの記入が必要となります)

この2日間に渡る発表では、日本語における空主語・空目的語(より一般的には、空項)の研究が言語理論研究にどのような貢献をしてきたか、あるいはするのかを概観し、特にこの10数年間精力的に研究されている省略(削除)を用いた分析がもたらす理論的帰結を考察する。

### 第1部 空主語・空目的語研究の進展

1日目の発表では、日本語における空項の研究がこの半世紀にどのように展開してきたかを概観する。空項を空代名詞(ゼロ代名詞)とする分析、空話題に束縛される変項とする分析、省略・削除により生じるとする分析を取り上げ、それぞれの長所・短所、現在の併合・ラベリング・フェイズなどを仮定する理論のもとではどのように再評価されるかを考察する。

### 第2部 項省略分析の諸問題

2日目の発表では、日本語の空項は省略(削除)により生じるという仮説、すなわち項省略分析を中心に取り上げる。日本語の空項を項省略により統一的に説明できるか、項省略はどの言語の、どのような統語的位置に可能か、項省略は省略に関わる経済性条件にどのような制約を受けるかという問いを、発表者のこれまでの研究を踏まえつつ考察する。